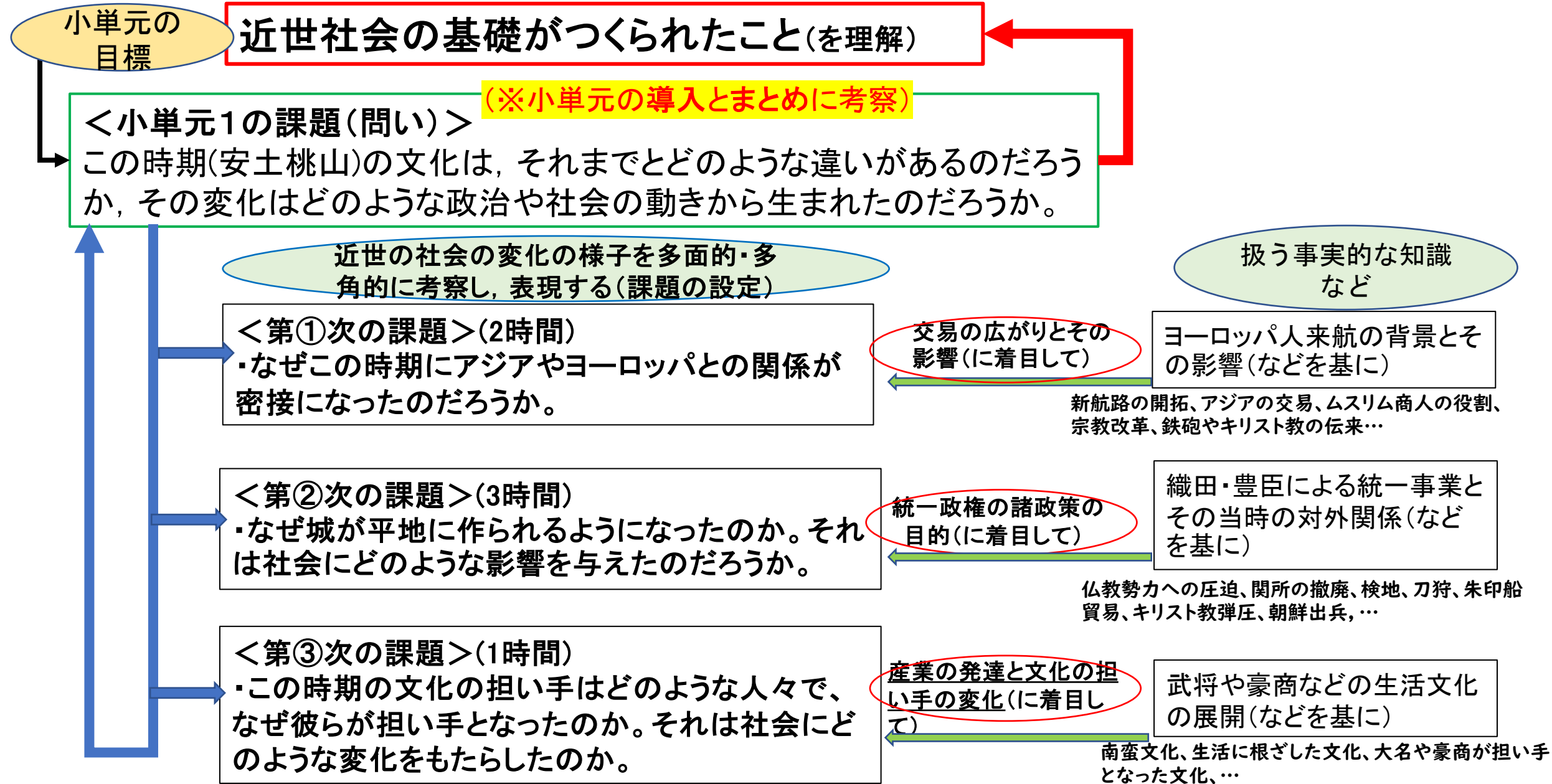
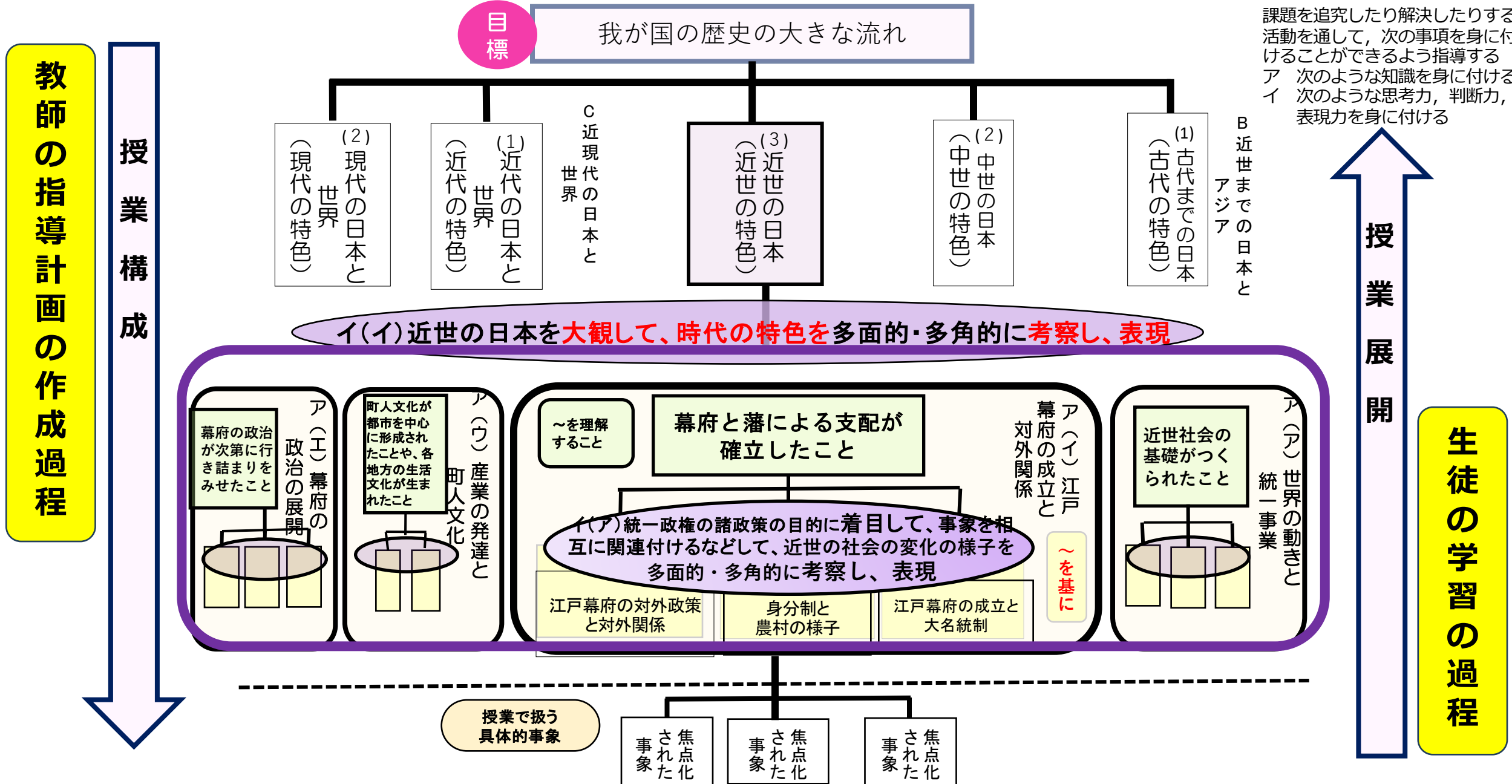


中学校 歴史的分野 B(3) 近世の日本 小単元1 (小項目(ア)) 「世界の動きと統一事業」

単元計画例(6時間)



中学校社会科歴史的分野 大項目B、Cの学習の構造化図



C (3) 経済危機と第二次世界大戦 小項目 (ア)

小項目で理解すること		国際協調体制の動揺	
小項目で多面的・多角的に考察し、表現すること（例）		・ 各国の世界恐慌への対応の特徴、国際協調体制の動揺の要因	
小項目で働かせる 歴史的な見方・考え方 （例）	視点 や 方法	・ 経済危機の背景と影響、国際秩序や政治体制の変化 （に着眼して）	
		・ 日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりする	
小項目で用いる 歴史に関わる事象（例）		・ 世界恐慌 ・ ファシズムの伸張 ・ 日本の対外政策 （を基に）	

<学習指導の例>

小項目全体に関わる問い

「第一次世界大戦後に国際協調体制が成立したにもかかわらず、なぜ第二次世界大戦が勃発したのだろうか」

「世界恐慌」について、**段階的な課題 (問い)** を設定した学習活動の例

「世界恐慌は人々の生活をどのように変えたのだろうか、各国はどのように対応したのだろうか」(**推移や展開を考察するための課題 (問い)**)

生徒は、諸資料を活用して、日本とその他の国の経済危機を克服するための政策を比較して共通点や相違点を考察したり、生活の変化などを読み取ったりして経済危機への対応を理解する。



「世界恐慌に対して行われた各国の政策の結果を理解することは、あなたにとってどのような意味があるか」(**事象を比較し関連付けて考察するための課題 (問い)**)

世界恐慌への各国の対応と現代的な諸課題との関わりなどを多面的・多角的に考察し、表現する。

「解説」pp.160-161

<学習指導要領の記載と小項目の構成>

C 国際秩序の変化や大衆化と私たち

(3)経済危機と第二次世界大戦

ア 次のような知識を身に付けること。

(ア) 世界恐慌、ファシズムの伸張、日本の対外政策などを基に国際協調体制の動揺を理解すること。

(イ) 第二次世界大戦の展開、国際連合と国際経済体制、冷戦の始まりとアジア諸国の動向、戦後改革と日本国憲法の制定、平和条約と日本の独立の回復などを基に、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解すること。

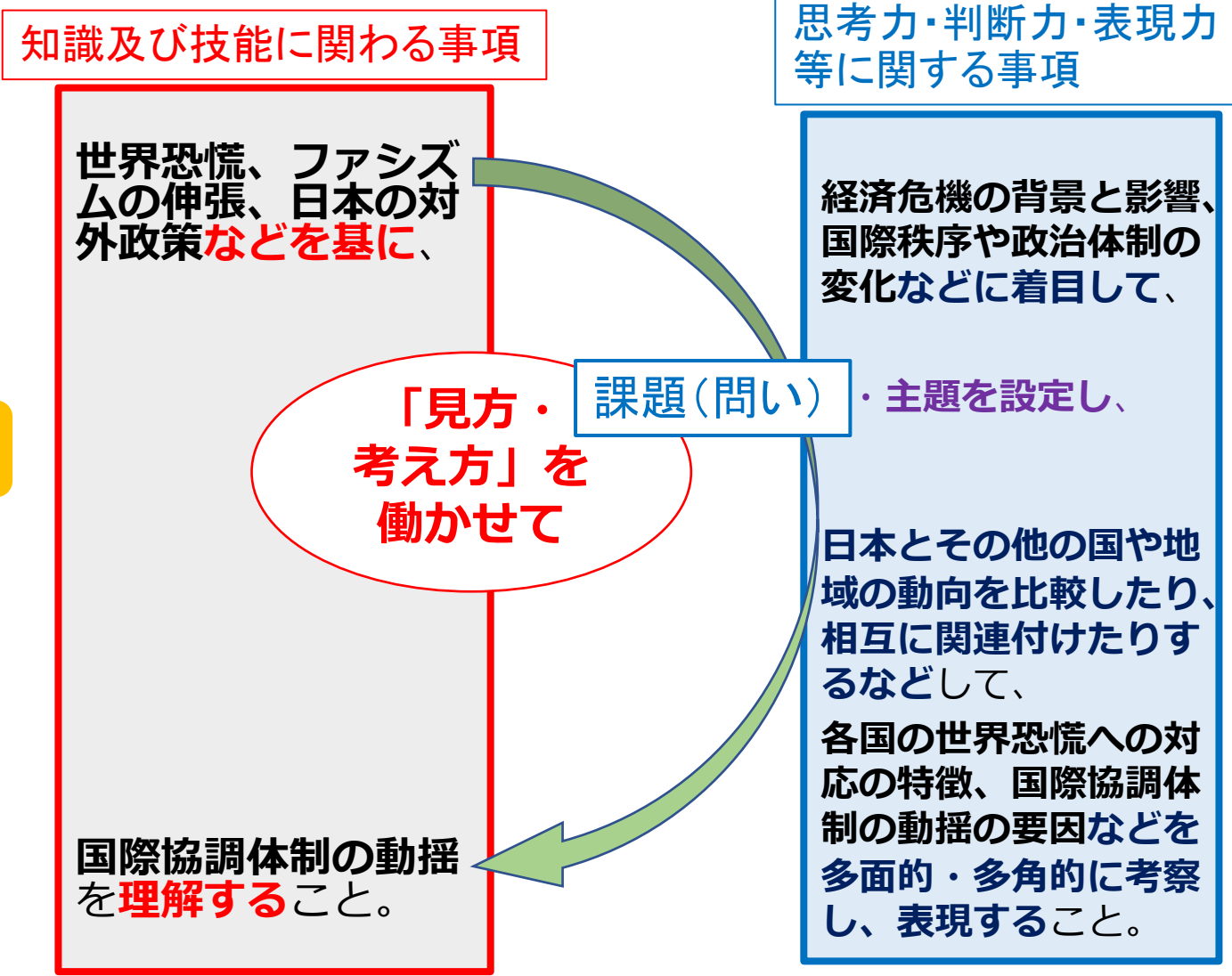
ア「知識…」の(ア)と、イ「思考力…」の(ア)とが結び付いて、「小項目(ア)」を形成

イ 次のような思考力, 判断力, 表現力等を身に付けること。

(ア) 経済危機の背景と影響、国際秩序や政治体制の変化などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、各国の世界恐慌への対応の特徴、国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し、表現すること。

(イ) 第二次世界大戦の推移と第二次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、第二次世界大戦後の国際秩序の形成が社会に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、第二次世界大戦の性格と惨禍、第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活、日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し、表現すること。

<小項目の構造 –C(3)小項目(ア)を事例に– >



C (3) 経済危機と第二次世界大戦 小項目 (ア) の構造

C(3)「経済危機と第二次世界大戦」小項目(ア)

【小項目の学習の構造】

①世界恐慌、ファシズムの伸張、日本の対外政策などを基に<ア(ア)>



②経済危機の背景と影響、国際秩序や政治体制の変化などに着目して<イ(ア)>

③第一次世界大戦後に国際協調体制が成立したにもかかわらず、なぜ世界大戦が再び起こったのか？

④日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして<イ(ア)>

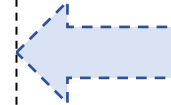


⑤各国の世界恐慌への対応の特徴、国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し、表現し<イ(ア)>

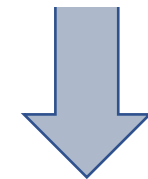


⑥国際協調体制の動揺を理解すること（に至る）。<ア(ア)>

歴史に関わる個別の
事実、事象



生徒が視点をもって考察し、
個別的な知識を比較したり関
連付けたりして束ねていく



理解

(概念的な理解)



課題(問い)を設定することが重要

⇒見方・考え方を働かせて何についてどのように考察するのかというねらいを教師と生徒が共有し、生徒の課題意識を醸成し、学習の見通しを立てる

C (3) 小項目(ア) 教科書記述を基にした概念的な理解

理解させたいこと

国際協調体制
の動揺

第一次世界大
戦後に国際協
調体制が成立
したにもかかわ
らず、なぜ第二
次世界大戦が
勃発したのだろ
うか

問いの構造

SORA、2024

世界恐慌

世界恐慌は、世界経済にど
のような影響を与えたのか

段階的な考察

各国は世界恐慌に対してど
のように対応したのか

ファ
シズム

なぜ当時のドイツの人々は、
ヒトラーに熱狂したのか

段階的な考察

ミュンヘン会談の宥和政策は
どのようなものだったのか

日本
の対
外政
策

1930年代初めの日本経済は
どのような状況だっただろうか

段階的な考察

世論が軍部を支持したのは
なぜだろう

歴史的な見方・考え方を働かせて、
資料から情報を読み取り、比較、
関連付けたりして

→ 各国は長期にわたり低迷し、
失業者が増大した。

→ 金本位制から管理通貨制度
へ。世界経済のブロック化

→ 多くのドイツ人が国民の団結
の回復と強力なドイツの回復
をみた。

→ ドイツとの戦争を回避するた
め、ドイツの領土拡大の要求
を認めた。

→ 日本全体が深刻な不況となっ
たが、政府は十分な対策がと
れなかった。

→ 満洲における権益維持など、
当時の世論は積極的な対外
政策に期待していた。

世界の経済のブ
ロック化が進み、
広大な植民地を有
しない国々は経済
的に不利な立場に
置かれた

ファシズムや軍国
主義など自国中
心主義が植民地
を有しない国々で
拡大した。

理解していること

1920年代の
国際協調体制

世界恐慌に
よって国際的
な協調体制が
崩れ、自国中
心主義的な国
際関係へと変
化した。

知識の構造

帰納的な推論

問いの設定の工夫

地誌的に 考察する方法

取り上げた地域の**多様な事象を項目ごとに整理して考察**したり，取り上げた地域の**特色ある事象と他の事象を有機的に関連付けて考察**したり，**対照的又は類似的な性格の二つの地域を比較して考察**したりすることを意味している。

● 「取り上げた地域の**多様な事象を項目ごとに整理して考察**」

地域に見られる様々な事象を項目（例えば，自然環境，資源など）ごとに取り上げ，整理し，それら取り上げられた事象全体を通して地域的特色を見いだしたり，地球的課題を学習したりすること

例) **東南アジア**（**国家の結び付き**で区分）

問い：「ASEAN諸国とはいったいどのようなまとまりをもった地域なのだろう」

政治，経済，人口，歴史など項目ごとに整理して考察

静態地誌

● 「取り上げた地域の**特色ある事象と他の事象を有機的に関連付けて考察**」

地域に見られる特徴的な事象を取り上げ，その事象に関連する様々な他の事象を関連付け，特徴的な事象のもつ意味を通して地域的特色を見いだしたり，地球的課題を学習したりすること

例) **インド**（**経済成長率**で区分）

問い：「なぜインドは急激な経済成長を遂げているのだろうか」

巨大な人口，他地域との結び付き，都市や農村の変容などと有機的に関連付けて考察

動態地誌

● 「**対照的又は類似的な性格の二つの地域を比較して考察**」

取り上げた地域と対照的又は類似的と思われる他地域とを比較することによって，それぞれの地域の地域的特色を見いだしたり，地球的課題を学習したりすること

例) **イスラーム諸国**（**宗教**で区分）

問い：「イスラームの国々には，いったいどのような共通点や相違点があるのだろうか」

サウジアラビアとトルコを比較して，政治や生活文化などの側面から特色を考察

比較地誌

地理と歴史、公民における「見方・考え方」

中学校社会科・地理歴史科・公民科における「見方・考え方」は、大きく二つに分けることができる。一つは、**地理や歴史の「見方・考え方」で、事象を捉え、事象間の関係を追究するための方向性を示す、いわば方略的な「見方・考え方」**である。もう一つは、**公民の「見方・考え方」で、事象間の関係を追究するための「概念的な枠組み」を示す、いわば概念的な「見方・考え方」**である。（中本和彦（2021）「中学校社会科・地理歴史科・公民科における「見方・考え方」と問いと知識との関係」『龍谷教職ジャーナル』第9号、p.76）

地理歴史科

社会的事象の地理的な見方・考え方

位置や空間的な広がりとの関わりに
着目して社会的事象を見出し
環境条件や他地域との結び付きなどを
地域等の枠組みの中で
人間の営みと関連付けて

地理的分野

社会的事象の地理的な見方・考え方

位置や空間的な広がりとの関わりに着目して
社会的事象を見出し
環境条件や他地域との結び付きなどを地域等
の枠組みの中で人間の営みと関連付けて

地理歴史科

社会的事象の歴史的な見方・考え方

時期、推移や変化などに
着目して社会的事象を見出し
共通性や相違点などを明確にしたり
因果など事象どうしを関連付けて

歴史的分野

社会的事象の歴史的な見方・考え方

時期、推移や変化などに着目して
社会的事象を見出し
共通性や相違点などを明確にしたり
事象どうしを関連付けて

公民科

人間と社会の在り方についての見方・考え方

人間と社会の在り方を捉える概念的枠組みに
着目して課題を見出し

それらの課題の解決に向けて
選択・判断の基準となる考え方などを
関連付けて

公民的分野

現代社会の見方・考え方

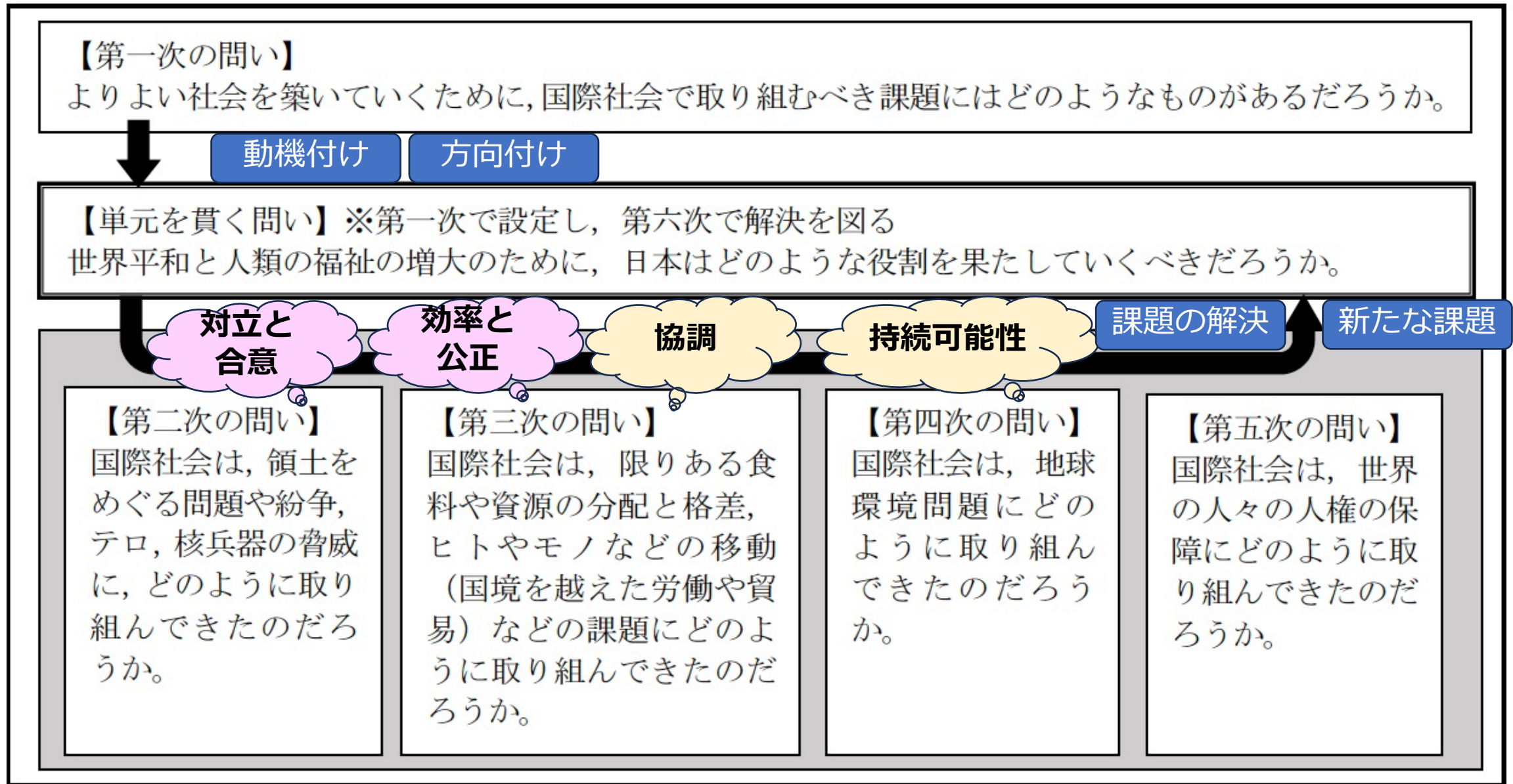
現代社会を捉える概念的枠組みに着目して
課題を見出し

それらの課題の解決に向けて
多様な概念を関連付けて

「概念的な枠組み」のイメージ

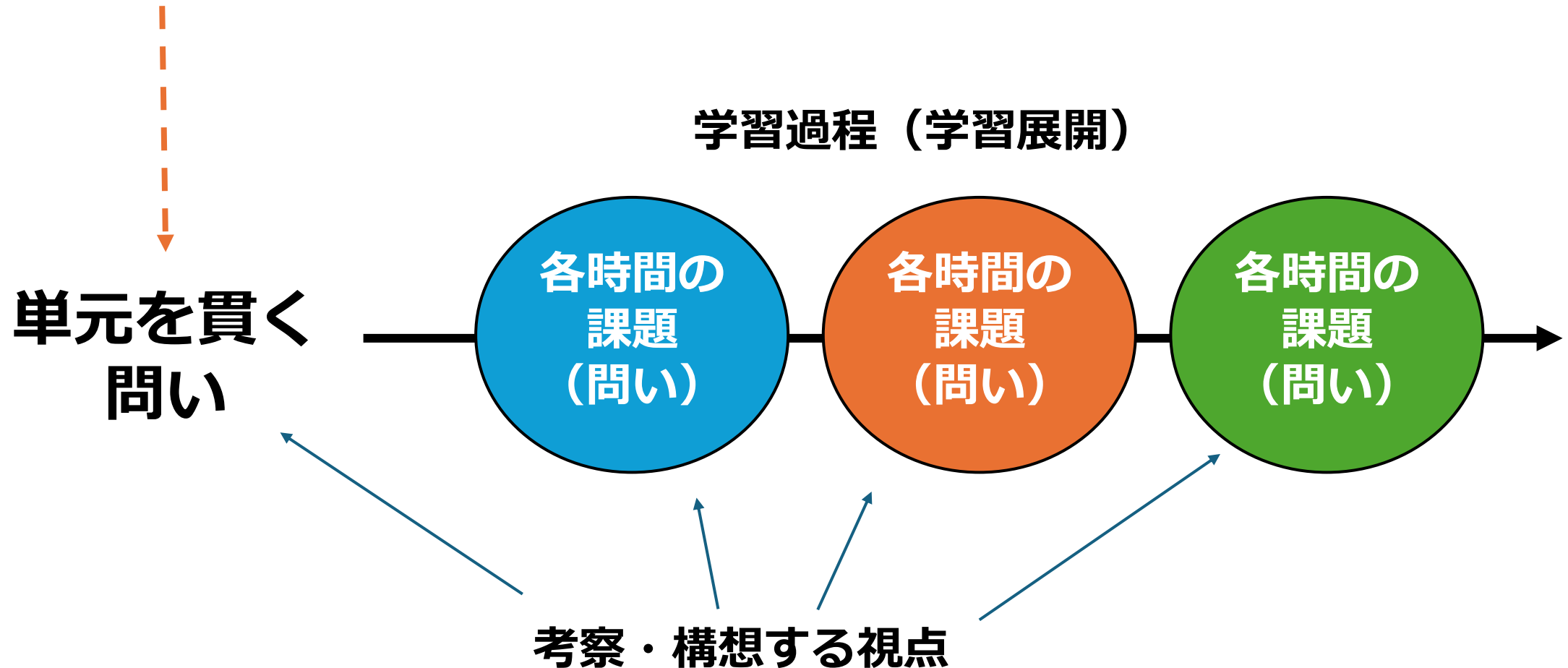


問いの構造図

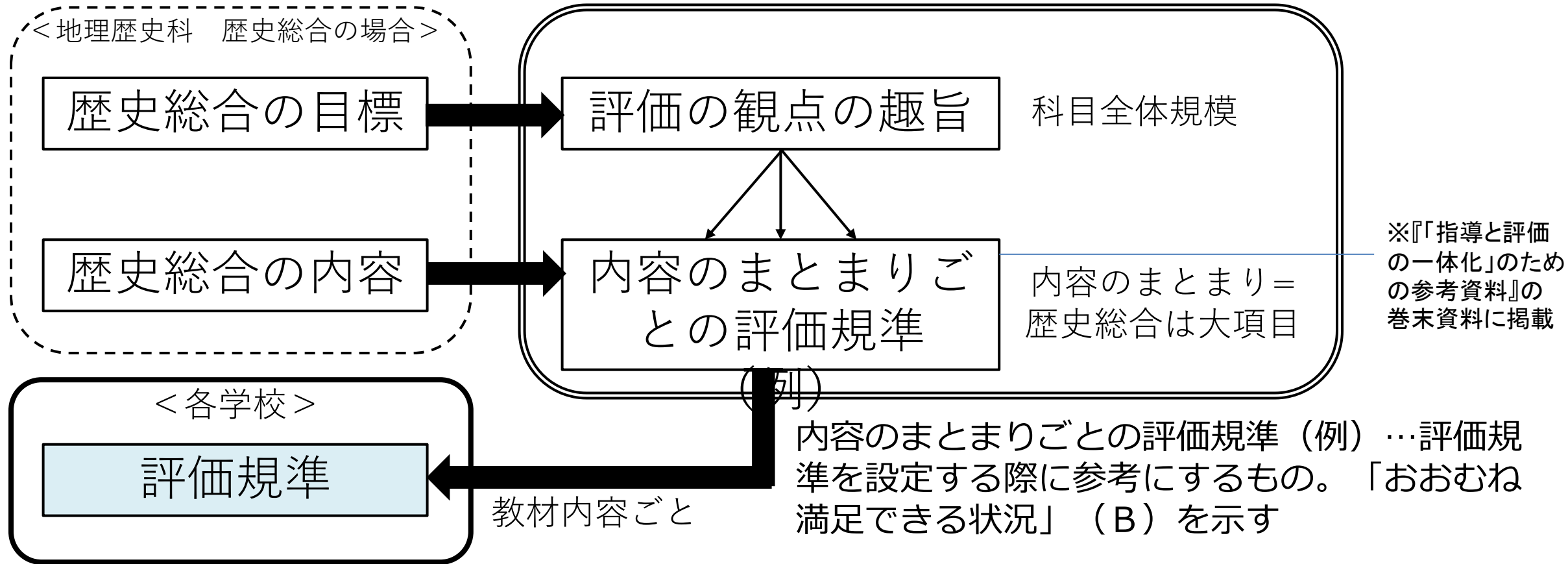


単元を貫く問い（全体に関わる問い）

単元で身に付けたい資質・能力



評価規準の具体化



評価規準…学習目標を実現した際の生徒の姿を文言で表したもの（各学校の教師が生徒や地域の状況に応じて設定）

単元で育成したい生徒の姿（＝評価規準）

- ・ 評価規準とは、観点別学習状況の評価を的確に行うため、学習指導要領に示す**目標の実現の状況を判断するよりどこを表現したもの**（「参考資料」p.3）
- ・ 子供たちが自ら獲得し身に付けた**資質や能力の質的な面**、すなわち、**学習指導要領の目標に基づく幅のある資質や能力の育成の実現状況の評価を目指す**という意味から用いたもの（「参考資料」p.4）

👉 評価規準の具体化によって、資質・能力の実像が見える

「十分満足できる」状況と判断されるもの(A)

時後

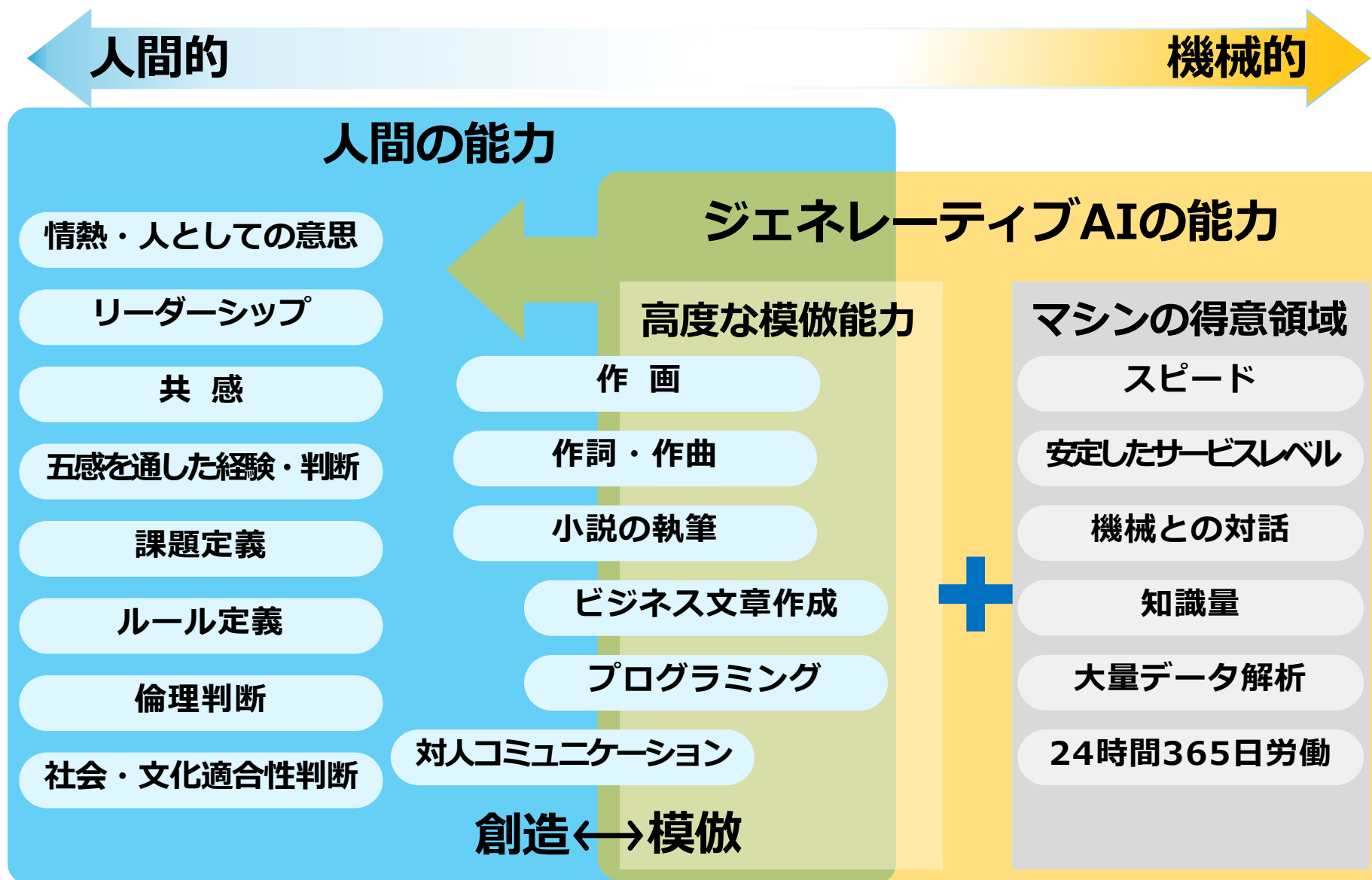
評価規準

「おおむね満足できる」状況と判断されるもの(B)

「努力を要する」状況と判断されるもの(c)

即時

人間が得意なこと VS 生成AIが得意なこと



出典：「ChatGTPはTiktokの4倍以上の速度で普及。アクセントチュアがビジネスメリットとリスクに言及」
<https://pc.watch.impress.co.jp/docs/news/1494429.html>より作成

生成AIの活用も視野に

様式B-2

リーディングDXスクール事業【実践事例】

札幌市立中央小学校（札幌市）【指定校】

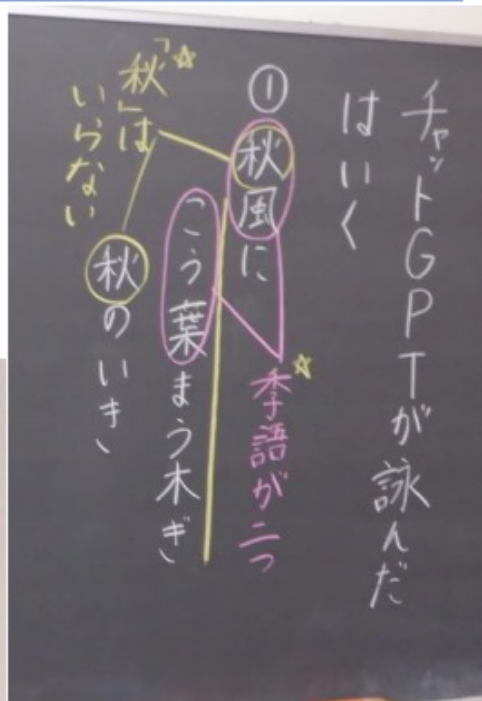
<教育利用> ②生成AIより表現豊かな俳句をつくるには？

【教師の生成AI利用】 3年国語「きせつの言葉3 秋のくらし」

本実践は、秋を連想する言葉使って、その季節らしさを表現するものである。
導入場面で、テキスト系生成AIに作らせた俳句を提示し読み取らせる。

「秋」という言葉が重複していたり、「秋風」と「紅葉」の季重なりになっていたりする点に着目させ、「自分だったらどう作る？」という課題意識を生む。

すると、児童は「テキスト生成系AIには負けないぞ。」と気持ちを高めて創作活動に向かう。「秋という言葉を使わなくても『紅葉』だけで秋が伝わるはずだ。」と気付いた児童は工夫して創作しようとしていく。



授業の後半では、児童が自由に言葉を吟味しながら俳句を作っていく。教師が机間指導しながら、なぜその言葉を選んだのかを問うことで、言葉選びに対する自分の考えを確かなものにさせていく。

課題把握

課題追究

情報収集

考察・構想

課題解決

リーディングDXスクール
指定校実践事例・動画

<https://leadingdxschool.mext.go.jp/achievements/ai/>

